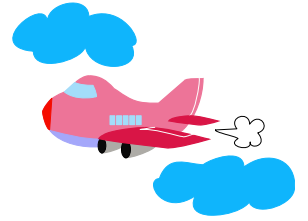


【保健環境研究センター11月だより】

～海外で注意すべき感染症について～

年末・年始は海外へ渡航される方が多い時期です。健康で安全に海外へ旅行するために、注意すべき感染症について紹介いたします。



1. 生水・生肉・生野菜に注意！

渡航先で最も感染の可能性が高いのは、水や食べ物を介した消化器系の感染症です。発展途上国など公衆衛生の整備が不十分な地域では、水や食べ物からA型肝炎、コレラなどに感染することがあります。生水・氷・サラダ・カットフルーツ・生の魚介類や生の部分が残る肉は避け、完全に火の通った食べ物を食べるよう心掛けてください。

2. 虫刺されに注意！

海外では日本で発生していないような、動物や蚊・ダニなどが媒介する病気が流行していることがあります。特に熱帯・亜熱帯地域ではマラリア、デング熱、チクングニヤ熱などに注意が必要となります。予防の基本は虫がいるところを避けること、そして虫除け対策を行うことです。できるだけ皮膚の露出の少ない長袖・長ズボンを着用し、虫除けスプレー等を使用することで蚊に刺されないよう注意しましょう。

3. 動物に注意！

野生動物は重篤な感染症の病原体を持っている可能性があります。特に狂犬病は発病するとほぼ100%死に至る危険な感染症であり、世界のほとんどの国で発生しています。鳥インフルエンザはもともと鳥の病気ですが、鳥との濃厚な接触により、人に感染することがあります。人に感染すると非常に症状が重くなります。海外では、野生動物とは十分に距離を取り、むやみに動物に触れることはやめましょう。

上記以外にも海外では思いもよらないことで、深刻な病気に感染することがあります。事前に渡航先の最新情報を確認しましょう。また、渡航前に医療機関や検疫所に相談し、予防接種で予防できる病気はワクチンを接種することをお勧めいたします。次号ではワクチンについて簡単に紹介いたします。

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

■ 渡航先の医療機関情報等 < 外務省ホームページ (世界の医療事情) >

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

■ 予防接種に関する情報 < 厚生労働省検疫所ホームページ (海外渡航のためのワクチン) >

<http://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>

■ 感染症別の詳細情報 < 国立感染症研究所感染症情報センターホームページ (疾患別情報) >

<http://idsc.nih.go.jp/disease.html>